



発行者
文京学院大学
女子中学校
南部 和彦

企業見学をしてみ

三年桃組 川津 千幸

私は今回、企業見学会で西武百貨店を訪問しました。西武百貨店では商品を買っているだけではなく、様々な社会貢献活動をしていることが分かりました。例えば、ザンビア共和国への支援活動です。ザンビアでは多くの子供たちが裸足で生活しています。そのため足の怪我から感染症にかかり亡くなる子どもが多く、国民の平均年齢が低下しています。そこで、この西武ではお客様から預かった下取り品を、ザンビアまで輸送経費をすべて負担する形で寄贈しているそうです。

また、西武百貨店池袋店では店内で発生した生ごみを使って、コンポスト(肥料)を製造しています。できた肥料は農家に無償で提供していて、そこで栽培された野菜や果物を仕入れているそうです。普段、私たちが何気なく使っているエスカレーターのアナウンスは、実際に人の声を録音したものを使っています。放送室には、発声練習のようなボードがあり、とても難しそうでした。

物を運ぶ時は、服の場合はハンガーラックにかけて、なるべく段ボールを使わないようにして、ゴミを減らす取り組みをしています。

このように、私たちの目には見えない所でいろいろな仕事や取り組みをしていることを知り、とても驚きました。今回の見学会を今後の進路決定に役立てていきたいと思っています。

企業見学会に行つて

二年菊組 小栗 千明

私は、先日、企業見学会でサンリオに行きました。サンリオの本社の方々からいろいろなお話をうかがいました。

最初に、サンリオの歴史。そして、これまでサンリオが開発したキャラクターの種類、会社での事務以外にどのような仕事があるのか、キティちゃんが生まれた過程、新しいキャラクターの開発などについてなど、社員の方の説明をお聞きしました。

その後、サンリオが開発したキャラクターの商品やサンリオの会社に携わった方々の写真などが飾られている展示室に案内されました。とてもたくさんさんのキャラクターや、キャラクターとコラボしたバッグやタオル、アクセサリーやスマホケースなどが展示してあり、とても可愛いかったです。

そして、最後に、応接室を見学しました。社長室の隣にあつて、ドアノブも母で作られていたり、応接室の中のソファなどもキティの形をしていてピンク色だったり。サンリオのキャラクターやサンリオらしさで溢れていてその徹底ぶりが凄いなと思いました。

最初に説明して下さった社員の方が、サンリオは「小さいものでも人に笑顔を送る」ことを目指しているとおっしゃっていました。そして、サンリオはそもそも小さな会社で、人にとのようならしくすれば人気が出るかを考えて、この目標の達成のために突き進んで行き、今凄く人気が出てきています。

「人のため」、「どうすれば喜んでくれるか」を第一に考え続けることが、企業にとって一番大切なことだと分かりました。



運針で感じたこと

三年松組 岡橋 瞳

私は十一月十八日の運針競技会に出場しました。昨年参加して一位を頂き、今年もよい結果を出せたらと思ひ、参加を決定しました。

運針競技会は十五分間できれいに、どれだけたくさん縫うことができるかを競います。初めの合図がかかると周囲は驚くほど静かになり、全員がいつも以上の集中力で縫い始めます。多くの先生方もいらしてとても緊張しました。

会場に行く前は楽しみな気持ちとともに、緊張もありましたが、クラスのみならず「頑張つてね」と声をかけてもらって落ち着くことができました。

昨年は六本縫えましたが、今年は七本目に入ることができ、自分の中で達成感があり、すっきりとした気持ちで終わることができました。

結果はまた一位を頂くことができ、楽しくとても良い経験になりました。友達から「おめでとう」という言葉をもらいさらに嬉しい気持ちになりました。

最初はよく分からずなんとなくやってた運針ですが、二年間毎週金曜日の朝に運針をやつてきて、集中力を高められることを実感するようになってきました。少しずつですが早く縫えるようになってくると、「もっと縫いたい」と目標ができてきて、その時間はとても集中できます。私は運針で、向上心や集中力が身についたと思います。それを他のことにも活かしたいと思っています。

また、今回、友達から応援してもらい、友達がいることの喜びを感じることもできました。運針競技会で得られたことを心に留め、大事にしていきたいと思っています。

「YOKOSO」プロジェクト
大島杏子先生の講演会と実技指導

一年松組 青木 和

私は大島杏子先生の講演を聴いてすごいなと思つた事が、二つありました。

一つ目は、小さい頃から夢を持ち、それを目標にずつとがんばつてきた事です。私はまだ大島さんのように世界一などという大きな夢はありません。ですが、小学生のときにバレーボールを始めた時から、「春の高校バレー」に出るといふ夢があります。今は、その夢に向かって毎日部活に取り組んでいます。今日の講演を聴き、大島さんのように努力を積み重ね、夢に向かって一日一日をがんばりたいと思ひました。二つ目は、今もスポーツの発展のために、仕事をやつているという事です。引退したにもかかわらず、今後の日本体操界のために活動している大島さんは、本当にすばらしいと思ひました。

四時間目には、大島さんの体育の授業(マット運動)を受けました。体操の基本の技を見せてもらいました。大島さんのマット運動はとてもすごかったです。前転や後転などすくきれいにできていました。特にバック転やハンドスプリングの模範演技はとてもかっこよかったです。大島さんの体操を見ていて、私はバレーボールでもアンダーパスやオーバーパスなどという基本のプレーがしっかりできていないと、他の難しいプレーはできないという事に改めて気がつき

ました。だから、大島さんがやっていたバック転やハンドスプリングなども、しっかりと基本ができてから、このようなむずかしい技もできるんだなと思いました。

初めて外国の方にスピーチをして

一年菊組 草野 那月

私達はグローバルスタディーズの活動で「ようこそ東京へ」をテーマにして、十一月に外国の方に東京の観光名所や食べ物などを紹介しました。文芸祭りで発表した時は、「実際に外国の方にスピーチをしてみたい。」と思ひていました。でも本当に外国の方にスピーチをする時と聞いた時、すっかり自分の話す英語が通じるかがとても心配でした。

外国の方にスピーチをする日、私達はまったく知らない外国の方と会い、とても緊張しました。でも私たちがスピーチをしている途中でうなずいたり、笑ってくれたりしたので、自分たちの話している英語が通じていることが分かり、とても安心しました。

最後に外国の方とは十分ほどお話しをする時、私達はどんなことを質問したらよいか分からず、困っていた時も、「誕生日がいつなの?」や、「好きな日本の食べ物は何?」と気軽に質問をしてくれました。

外国の方にスピーチをしたり、外国の方とお話できたのは、とても良い体験だと思ひました。そして私は、今度このように外国の方と交流する機会があった時には、お話しをすることに困つたりしないように、英語や英会話の授業をしっかり受けたいと思ひました。

